

オペラ **森は生きている**

オペラシアターこんにゃく座公演

11.17 (火)

熊本市市民会館
大ホール

※どちらのステージも一般参加 出来ます(要 事前申込)



主催：熊本県子ども劇場連絡会
共催：熊本県子どもと保育の明日を語る連絡会

後援:熊本市教育委員会 合志市教育委員会 菊陽町教育委員会
熊本日日新聞社 RKK TKU KKT KAB FMK FM791

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ 森は生きている

原作 サムイル・マルシャーク
(湯浅芳子訳による)

台本・作曲 林光

演出 眞鍋卓嗣

美術 伊藤雅子
衣裳 山下和美
照明 金英秀
振付 白神ももこ
舞台監督 八木清市
音楽監督 萩京子

Illustration ミロコマチコ
Title design 片山中蔵

1954年、戦後まもなく劇団俳優座によって「森は生きている」が日本初演されたとき、劇音楽を担当したのが当時22歳の林光でした。
こんにゃく座がオペラ『森は生きている』を初演したのは1992年。以来、こんにゃく座の大切なレパートリー作品として毎年上演し続けています。



ものがたり

新しい年を迎える大晦日。

年若い女王が、「四月に咲くマツユキ草が今すぐ欲しい」と
言い出したために国じゅうは大さわぎ。

ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉嬢は、
マツユキ草を探ってくるようにと、むすめを真つ暗な冬の森へと追いやります。

森の中では一月から十二月の月の精たちが、
焚き火を囲んで新年を迎える儀式をおこなっていました。
むすめの話を聞いた四月の精は、他の月の精たちに頼んで
一時間だけ「時」をゆずってもらいます。

すると冬の森はたちまち春へと季節をかせ、
むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出します。

継母と姉嬢は、むすめが摘んできたマツユキ草を取り上げると、宮殿の女王の元へ。
マツユキ草を目にした女王は、自分でマツユキ草を摘むために
宮殿の家来たちを引き連れて自ら冬の森へとソリで向かいます。
そこで待ち受けていたものは…。



こんにゃく座は
新しい日本オペラを創造し
全国で上演しています

出演



県内子ども劇場
2・3月鑑賞会 ご案内



くまもと 子どもわくわく
アートフェスティバル



4才～小3対象

さんびきのこぶた
タマゴサーカス



2027
2/11(木) ①11:10開演
②14:40開演
熊本市国際交流会館 ホール
2/13(土) 18:30開演
八代市 会場未定
2/14(日) 11:00開演
宇城市 会場未定

小4～大人対象

推し、燃ゆ



人形劇団クラルテ

アートに
出会う!
子ども劇場

第164回芥川賞受賞作品を
人形劇化!



2027
3/21(日) ①14:00開演
②17:00開演
熊本市国際交流会館 ホール

問合せ
申込み

特定非営利活動法人
熊本市子ども劇場連絡会
〒860-0821
熊本市中央区本山1丁目6-9白木ビル3F

TEL 096-356-0741
e-mail info@kumageki.jp
http://www.kumageki.jp/

お問合せは
こちら



一般申込みは
こちら



鑑賞会の参加は 事前申し込みが必要です